

2001年度・前期・物理実験I

・実験室 3-027,026室(3号館地階).3-374A室, 375室(3号館3F)

・実験時間 午後1時30分-6時35分(5-6,7-8,9-10 時限)

講義形式の実験演習は、9-357室にて7,8限に行う(後期は場所・時間ともに異なる)。

テキスト No.	課題	実験 室 No.	指 導 教 員	4 月 20 日	4 月 27 日	5 月 11 日	5 月 18 日	5 月 25 日	6 月 1 日	6 月 8 日	6 月 15 日	6 月 22 日	6 月 29 日	7 月 6 日	7 月 13 日
1	振動	027	廣田	8	9	11	12	14	15	17	18	20	21	2	3
3	弾性：ヤング率の測定	027	廣田	9	8	12	11	15	14	18	17	21	20	3	2
2	定常波：弦の振動	027	後藤	10	11	13	14	16	17	19	20	1	2	4	5
13	電子：比電荷の測定	027	高橋	11	10	14	13	17	16	20	19	2	1	5	4
9	直線電流の作る磁界	027	野田	12	12	15	15	18	18	21	21	3	3	6	6
				13	13	16	16	19	19	1	1	4	4	7	7
11	ブラウン管 オシロスコープ	026	荻原	14	14	17	17	20	20	2	2	5	5	8	8
				15	15	18	18	21	21	3	3	6	6	9	9
19	コンピュータ技術 [基本入出力]	374A	鈴木	1	1	4	4	7	7	10	10	13	13	16	16
				2	2	5	5	8	8	11	11	14	14	17	17
				3	3	6	6	9	9	12	12	15	15	18	18
8	銅の電気抵抗の測定	027	西尾	4	5	7	8	10	11	13	14	16	17	19	20
*	グラフの書き方	375	広中	5	4	8	7	11	10	14	13	17	16	20	19
14	最小エネルギー	027	石川	6	7	9	10	12	13	15	16	18	19	21	1
18	ホットエンジン	026	西尾	7	6	10	9	13	12	16	15	19	18	1	21
*	講義形式の実験演習 9-357 (7-8時限)			16	16	19	19	1	1	4	4	7	7	10	10
	A: 実験とは (田中)			17	17	20	20	2	2	5	5	8	8	11	11
	B: 単位系 (高柳)			18	18	21	21	3	3	6	6	9	9	12	12
	C: 弦の振動 (後藤)			19	19	1	1	4	4	7	7	10	10	13	13
	D: 誤差論(Boesten)			20	20	2	2	5	5	8	8	11	11	14	14
	テーマ名は仮題			21	21	3	3	6	6	9	9	12	12	15	15
	講義テーマ			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D

・準備するもの：教科書，B5判ノート(50枚以上のもの)，鉛筆，A4判方眼紙，関数電卓

・各実験テーマ・講義終了後、毎回レポートを提出すること。

次の実験日の午後1時30分迄にレポート提出箱に入れる。

配布されたを必要事項記入の上レポートの表紙につけて提出する

(原則として1週間の遅れまでは受け付ける)

・注意事項

1. 必ず予習をして何を実験するのか理解しておく。表等は前もって作っておく。

2. 実験室は狭いので、実験に必要なでないもの、大きなバック等は持ち込まない。

3. 実験装置を無意味に動かしたり操作したりしないこと。

4. 私語は、実験の説明の邪魔になるから極力慎むこと。

5. 実験後は、必ず実験装置の整理整頓をすること。これも実験のうちである。

6. 別の日には他学科も使用することに留意。

7. 室内は禁煙である。飲食もせぬこと。

・実験 係(水谷ymizugai@sophia.ac.jp), 物理学科担当(後藤:gotoo-t@sophia.ac.jp)